

生活態度・学習状況の分析結果

〈小学校〉

○良好と考えられること

- ・毎日、同じくらいの時刻に起床し、朝食を食べているなど、基本的な生活習慣が概ね身についている。
- ・人が困っているときは進んで助けている、いじめはどんな理由であってもいけない、人の役に立つ人間になりたい、地域や社会をよくするために考えることがある」など周りの人への優しい気持ちが育っている。
- ・自分には良いところや将来の夢、目標がある、先生は自分のよいところを認めてくれる、普段の生活の中で幸せな気持ちになることがあるなど自己有用感が高い。
- ・国語、算数ともに、学習することが大切で、将来社会に出た時に役に立つと考えている。
- ・授業では日常的にICT機器を活用しており、ICT機器の活用は学習に役立つと考えている。
- ・道徳の授業では、自分の考えを深めたり学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいる。
- ・総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる。教科での学びを生かして、自分の考えをまとめる、発表するなどの活動が実施されていることがうかがえる。
- ・今住んでいる地域の行事に参加している、地域や社会をよくするために考えることがある、日本や地域のことを外国の人にもっと知ってもらいたい児童が増加しており、ふるさと学習の成果がうかがえる。

●課題と考えられること

- ・家庭学習の時間が少ない傾向があり、家庭での学習習慣が十分に身につけていない。
- ・家庭で、普段1日当たり30分以上読書をしていると答える児童が2割程度にとどまっており、読書習慣が身につけていない。
- ・家庭学習でのICTの活用は低調である。
- ・国語の勉強が好きであると答える児童が半数程度にとどまっている。

☆今後に向けての改善のポイント

- ・規則正しい生活習慣を確立することをめざし、「パワーアップカード」を実施している。起きる時刻、寝る時刻、テレビを見た時間、SNS・ユーチューブの時間、家庭で読書をした時間、学習時間について目標を立てて取り組んだ。2学期には、集計を行い学年ごとの様子を分析し、「パワーアップカードのふり返し」として保護者に配付している。
- ・「家庭での学習習慣」を身につけるために、児童に6つの項目について意識させ、その取組の様子を各学期に1回保護者にアンケート調査をして把握している。その調査項目の一つに「学年の家庭学習の時間」（学年ごとに定めた時間家庭学習に取り組む）があり、その結果を分析して児童・保護者に返し、啓発を続けている。
- ・自主学習において、自分が課題と考える教科・内容に取り組むように指導している。児童が進んで学習する習慣が身につくよう継続していく。
- ・自主学習の活動内容に「読書と読めた分の感想を書く」を入れ、「家庭学習の時間」を達成するために、読書も含めて取り組ませている。
- ・保護者向けに子どものゲーム・スマホ依存とその対策について講演会を開催するなど、保護者の啓発に取り組んでいる。

〈中学校〉

○良好と考えられること

- ・人が困っているときは進んで助けている、いじめはどんな理由であってもいけない、人の役に立つ人間になりたいと考えているなど周りの人への優しい気持ちが育っている。
- ・自分には将来の夢や目標がある、先生はよいところを認めてくれるなど自己有用感が高い。
- ・朝食をとる習慣がある、就寝・起床の時刻が一定であるなど、基本的な生活習慣が概ね身についている。
- ・授業や家庭学習でのICT機器活用が進んでおり、ICT機器の活用は学習に役立つと考えている。
- ・国語や数学、英語は大切でありその学習は将来役に立つ、授業内容はよく分かると答えている。
- ・話し合いを通じて、考えを深めたり広げたりできた、学級では、学級生活をよりよくするために話し合い、お互いの意見のよさを生かして解決方法を決めている、道徳の授業では、自分の考えを深めたり学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいるなど、話し合いを大切にされた授業が実施されていることがうかがえる。
- ・学習した内容について、分かった点やよく分からなかった点を見直し、次の学習につながられている。
- ・総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んだ、課題の解決に向け、自ら考え自ら取り組んだなど、教科での学びを生かして、自分の考えをまとめる、発表するなどの活動が実施されていることがうかがえる。
- ・今住んでいる地域の行事に参加している、地域や社会をよくするために考えることがある生徒が増加しており、ふるさと学習の成果がうかがえる。

●課題と考えられること

- ・家庭学習の時間が少ない傾向があり、家庭での学習習慣が十分に身につけていない。
- ・「昼休みや放課後、学校が休みの日に月1回以上、図書室や図書館に本を読んだり借りたりしに行く」と答える生徒が1割程度にとどまっている。

☆今後に向けての改善のポイント

- ・家庭学習の習慣化に向けて、学校で使っているタブレットを定期的に持ち帰らせたり、授業で「生徒の興味関心を引き出す課題」・「授業とのつながりがある課題」を与えたりすることで、授業と家庭学習で一体的に学習への意欲を高めていく。
- ・総合的な学習の時間に行う探究的な学習への取組を通し、各教科の学習と関連付けた指導を行うことで、教科の学習への意欲を高めていく。
- ・校内の研究体制を適宜見直し、生徒の主体性を継続して高めていけるよう、よりよい授業づくりに継続して取り組む。